「私の仕事」

都市整備部維持課
瀧 隆児 さん（土木技術職）

大学で機械工学を学び、生まれ育った地元で働きたい。安心して将来を考えることができる職業に就きたい。そして、大学で学んだことで、地元への恩返しをしたいという思いで、伊勢市役所に入庁。現在は、市道、排水路、河川などの維持管理を担当しています。

採用：平成 30 年度
配属歴

平成 30 年	都市整備部維持課

土木技術職の仕事

市道、排水路、河川などに関わる設計や発注、現場監督、完了検査が主な業務です。生活に密接するものですので、電話でのお問い合わせも非常に多いです。

ビフォーアフターが目に見え、形として残る仕事であるため、責任感と達成感があります。仕事として行ったことですが、喜びの声を聞くと、本当にうれしくなります。

しっかりとした土木知識を身に付け、大学で学んだ機械工学の知識も、生かしていきたいと思います。

職場の雰囲気

入庁する前は「お役所」という堅いイメージがありましたが、同僚、先輩、上司は、全くイメージと異なり、優しく頼りになる人ばかりで、残業や困り事があっても、あまり苦になりません。また、体力が必要とも思っていましたが、現場作業は、業務分担の中で、技能労務職の皆さんが、主に対応していただいているので、安心して自分の業務に力を注ぐことができます。

土木技術職は、自己研さんのために、月1回程度の勉強会を行っています。知識の向上だけではなく、上司や同僚との交流にもなり、連帯感が強まっていくのが分かります。

同期や、中学・高校時代の同級生である同僚との交流もあり、リフレッシュができる、良い機会になっています。

工事現場に向かうときは、コンベックス（金属製の巻き尺）、チョーク、野帳（野外用メモ帳）が必須アイテムです。

休暇・休日

現在の所属では、業務の担当が決まっており、また、上司や同僚の理解もあるので、仕事の段取りをしっかりすれば、有給休暇や夏季休暇は、とても取りやすく、急なときでも取得できます。しかし、担当業務が滞ってはいけませんので、連続休暇を取得するには、同僚への配慮が欠かせません。

受験を考えている人へのメッセージ

市民と話したり、業者の方と連絡を取り合う機会が多いので、人と関わることが苦にならない人、笑顔ではきはきと話せる人は職員に向いていると思います。福利厚生がしっかりした、アットホームな職場で働きませんか？

職場「あるある」を聞いてみました

- 外出先で道路などの土木施設の状況が気になります
- 市内の道に詳しくなります
- 現場で調査していると、子どもから「何しとんの～」と声を掛けられます

発行：伊勢市総務部職員課